

# 小石川植物園

日本でいちばん古い植物園で  
のんびり都心の巨樹巡り



小石川植物園は、日本で最初にできた植物園です。

東京ドーム約3.5個分の園内には、約4,000種の植物が栽培されており、見応えのある巨樹や植物園ならではの学問的な由緒のある植物が点在しています。

植物や庭園に関心のある方に人気のスポットで、緑に潤う静かなたたずまいの中で、巨樹や季節毎に咲く花たちを眺めてのんびりしたい方にお勧めです。



東京大学総合研究博物館 小石川分館

### 【アクセス】

- ・都営地下鉄三田線「白山駅」より徒歩約10分
- ・東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」より徒歩約15分
- ・都営バス(上60)大塚駅～上野公園線「白山2丁目」より徒歩約3分

### 【入園料】

- ・一般(高校生以上) 400円
- ・小・中学生 130円
- ・小学生未満無料

## 1 焼夷弾にあっても生き残った生命力 ヒマラヤスギ(4本)

「ヒマラヤスギ」という名前ですが、実はマツの仲間、大きな松ぼっくりをたくさんつけます。幹のかなり下の位置から枝が分かれているのは、第2次世界大戦中に焼夷弾が命中して幹の上の部分が燃え、そこからまた生育した経緯があるから。植物の生命力の強さに驚かされます。



幹周り 388cm  
樹高 22m  
樹齢 95年と110年

\*いちばん太い木の幹周りと樹高を表記。樹齢はどの木かは不明

## 2 樹齢300年のパワースポット クスノキ

ツバキ園に植えられた何十種類ものツバキたちの真ん中に、どっしりとかまえています。樹齢は300年以上ともいわれ、園のなかでも古い木の1本とされています。園内の植物は剪定を控えられているので、のびのびとした力強さを感じられます。パワースポットとしても人気の巨樹です。



幹周り 592cm  
樹高 21m  
樹齢 300年以上(推定)

## 3 精子発見のイチヨウ イチヨウ

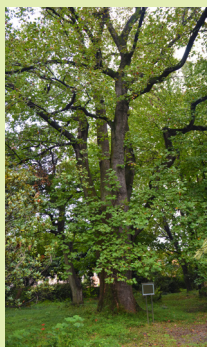
このイチヨウから種子植物にも精子が存在することが発見されたという、世界的に有名な巨樹です。一度、伐採されそうになったとの逸話が残っており、昭和初期までは、そのときについた鋸の傷跡が残っていたため「鋸歯のイチヨウ」とよばれていました。



幹周り 490cm  
樹高 22m  
樹齢 300年(推定)

## 4 大正天皇が命名したといわれる ユリノキ

園内でもひとときわ大きいユリノキ。傍らの看板には、「明治初年、伊藤圭介によって日本で最初に導入された」とあります。明治23(1890)年、大正天皇が皇太子の頃にご来園された際に、この木の花を見てユリノキと命名されたというエピソードが残っています。



幹周り 491cm  
樹高 29m  
樹齢 不明

## 5 こんなに大きなものは珍しい トキワマンサク

国内では限られた場所のみ自生する希少な樹木で、絶滅危惧1B類(環境省レッドリスト)に選定されています。垣根として使われることが多い種類で、これほど大きく育ったものは珍しく、4月半ばからゴールデンウィークあたりまで、小さく真っ白な花が枝垂れ桜のように咲きます。



幹周り 303cm  
樹高 13m  
樹齢 93年

### 【巨樹・巨木林調査とは?】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm以上の木を対象に、自然環境保全基礎調査の一環として、昭和63(1988)年から「巨樹・巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林データベース」ウェブサイトをご覧ください。

<https://kyoju.biodic.go.jp/>



### 【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス! 巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・巨木林」の発行、「巨木を語ろう全国フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林に関する活動を行っています。

<http://www.kyojyu.com/>





巨樹・巨木林観察コースガイド

# 小石川植物園

日本でいちばん古い植物園で  
のんびり都心の巨樹巡り

コースの所要時間は1時間程度。  
緑に潤う静かなたたずまいのなかで、  
のんびり都心の巨樹めぐりが  
楽しめます。

## 1 ヒマラヤスギ

(5分)

## 2 クスノキ

(1分)

## 3 イチョウ

(5分)

## 4 ユリノキ

(3分)

## 5 トキワマンサク

### こんなに大きなものは珍しい トキワマンサク

幹周り 303cm  
樹高 13m  
樹齢 93年  
所在 ユリノキの前の道を西に進む

大正天皇が命名したといわれる

### ユリノキ

幹周り 491cm  
樹高 29m  
樹齢 不明  
所在 巨木並木の西側

精子発見のイチョウ

### イチョウ

幹周り 490cm  
樹高 22m  
樹齢 300年(推定)  
所在 公開温室西側のトイレの近く

樹齢300年のパワースポット

### クスノキ

幹周り 592cm  
樹高 21m  
樹齢 300年以上(推定)  
所在 ツバキ園の中

焼夷弾にあたっても生き残った生命力

### ヒマラヤスギ(4本)

幹周り 388cm  
樹高 22m  
樹齢 95年と110年  
\*いちばん太い木の幹周りと樹高を表記。  
樹齢はどの木かは不明  
所在 本館北側



### 【歴史ある小石川植物園】

正式名称は「東京大学大学院理学系研究科附属植物園」といい、本来は東京大学の研究・教育施設ですが、庭園等の施設を一般にも公開しています。

その前身は小石川御薬園で、享保7(1723)年に園内に設けられた施薬院(小石川養生所)は、山本周五郎氏の連作短編小説『赤ひげ診療譚』や、その小説を映画化した黒澤明監督作品の『赤ひげ』で有名です。

### 【ニュートンのリンゴとメンデルのブドウ】

小石川植物園では、かの有名な「ニュートンのリンゴ」と「メンデルのブドウ」が見られます。リンゴもブドウもちゃんと実るそうですが、お味のほうはどうでしょうか。



### 【瀟洒な本館】

本館の建物は、中央に螺旋階段のついた時計台をもつ、鉄筋コンクリート造の優美な2階建。安田講堂をはじめ多くの東京大学の建物の設計をした内田祥三の作品で、昭和14(1939)年に建造されたものです。  
\*関係者以外は立ち入りできません。

